

旅

JOURNEY

先生たちの 美術展 12

坂東郷土館ミューズ

2026年1月18日(日)～2月23日(月)

休館日：1/19(月)、1/26(月)、2/2(月)、2/9(月)、2/12(木)、2/16(月)

開館日：10:00～18:30 土日祝は17:00まで ※最終日23日(月)は16:00まで

主催：先生たちの美術展実行委員会



後援

坂東市教育委員会
古河市教育委員会
常総市教育委員会
下妻市教育委員会
筑西市教育委員会
八千代町教育委員会
境町教育委員会
五霞町教育委員会
取手市教育委員会
守谷市教育委員会
稲敷市教育委員会

先生たちの 美術展12

Your
teacher's
exhibition
2026

「先生たちの美術展」とは

美術作品をつくり発表することを通して
専門性を高め感性を刷新していきたい。
美術の魅力を子どもたちに伝えたい。
そんな思いをもった先生たちが集まり
自主的に展覧会を企画・運営しています。

作品展示／企画・運営

阿久津 麻衣子	取手市立藤代南中学校
石塚 千恵子	常総市立五箇小学校
海老澤 真奈	古河市立古河第一中学校
大久保 隆三	古河市立総和中学校
金子 千恵	取手市立取手第二中学校
木村 千春	稲敷市立江戸崎中学校
木村 優花	坂東市立岩井中学校
工藤 安璃菜	坂東市立岩井第二小学校
光山 明	古河市立第六小学校
小林 優子	守谷市立愛宕中学校
城下 康恵	古河市立三和中学校
角谷 奎太	ひたちなか市立那珂湊中学校
中島 博之	下妻市立千代川中学校
中村 敦子	常総市立菅原小学校
中村 史佳	八千代町立東中学校
畑岡 夏未	茨城大学教育学部附属特別支援学校
針替 ひろみ	古河市立八俣小学校
松崎 みどり	坂東市立南中学校
松村 颯大	五霞町立五霞小学校
松本 栄子	八千代町立八千代第一中学校
村奈 将太	古河市立総和北中学校

アクセス

Access

坂東郷土館ミュージズ

〒306-0502 坂東市山 2726

TEL：0280-88-8700 / 0297-44-0055

【最寄駅】

TX 守谷駅 バス 30 分「岩井局前」下車後タクシー 20 分

東武野田線愛宕駅 バス 25 分「岩井局前」下車後タクシー 20 分

関東鉄道常総線石下駅 からタクシー 20 分

【巡回バス】

岩井ルート・境ルート

「さしま窓口センター前」

下車 徒歩 0 分

【坂東市コミュニティバス】

「さしま窓口センター前」

下車 徒歩 0 分



お問い合わせ

Contact

八千代町立東中学校 中村 史佳 TEL:0296-48-0787

八千代町立八千代第一中学校 松本 栄子 TEL:0296-48-0178

展示

Exhibition

テーマ展示「旅」

「旅」と聞いたら、「どこか遠くへ行ったのかな？」と思うかもしれませんが、「遠くへ行くこと」だけが「旅」とは限りません。「思考の旅」なんて言葉もあります。本展示では、各作家が「旅」という言葉から思い描いたものを展示します。

学校連携プログラム「小学校連携授業」

2校の小学生の作品を交換鑑賞しました。どこでもドアの向こうへ旅した小学生の楽しい作品をご覧ください。

参加校：常総市立五箇小学校3年生9名・坂東市立岩井第二小学校1年生12名

鑑賞教育プログラム

「ひとことコーナー・質問ボックス」

会場には、作品への感想を書いた「ひとこと」を共有できる掲示板と、作家への質問を入れられるボックスをご用意しています。質問には、後日のギャラリートークで作家がお答えしますので、お気軽にご参加ください。

イベント

Event & Workshop

ワークショップ企画「さあ、旅に出よう」

海や山、いろいろな国の景色の画像（B4）の中から、行ってみたい場所の画像を選びます。そこで自分や友達、家族が何をしているか想像を広げて絵を描き込み、楽しみます。

さあ、どんな旅をしましょう。わくわく、ドキドキ！

日時：1月31日（土）

①10:00～12:00 ②13:00～15:00

対象：子どもから大人まで 会場：エントランスホール 参加無料

アーティストワークショップ「遠くまで歩く」

父なるワタリガラスは彼の破天荒な旅と悪行を通じて最初の土地と人間とこの世界を創りました。ワークショップとアラスカでの作品を使って彼の旅へと誘います。

日時：2月15日（日）

①10:00-12:30 ②13:30-16:00

受付：①10:00- ②13:30-

エントランスホールにて

参加料：300円 当日現金でお預かり

対象：中学生以上（定員各部 10人）

お申し込みは
こちらから



講師 平田 五郎（ひらた ごろう）

心理的な「自分の場所」を探るテーマで、パラフィンワックスを用いて小さな部屋や家をつくる作品を制作する一方、凍結した湖上、砂漠、ヒマラヤ、沖縄西表島などを旅し、歩きながらフィールドワークを重ね、自身と対話する作品を制作してきた。

1990年 東京芸術大学大学院美術研究修士課程（壁画専攻）修了

1990年 代表作「Mind Space」を制作（パラフィンワックスを用いた白い部屋）

2004～2005年 第16回五島記念文化賞 美術新人賞受賞し、「ワタリガラス」の神話に基づきアラスカ南東沿岸部を自作のキャックで旅行するフィールドワークを行う。

2013年 あいちトリエンナーレ 2013 出品

2014・2017・2021年 北アルプス国際芸術祭にてランドスケープ作品「水面の風景」制作・改修 他多数

ギャラリートーク

「この線は何を意味するの?」「制作中のインスピレーション源は?」あなたの「しりたい!」を直接、作家にぶつけましょう!

事前に設置された質問ボックスに寄せられた質問に、作家が当日、お答えします。普段は聞けない制作の裏側や隠された意図を、この機会に発見してください! 作品をもっと深く楽しむための、特別な時間です。

日時：2月21日（土）14:00-16:00 参加自由